

# サンプル画像について

(注意事項)

サンプル画像は東京医科歯科大学の標本から作成しており、  
サンプル画像の無断転載・再頒布は禁止します。

(サンプル画像の中身)

## 1. 「test」および「train」フォルダ

標本：サル腎臓（H&E染色）

分類：

## 2. 「group\_test」および「group\_train」フォルダ

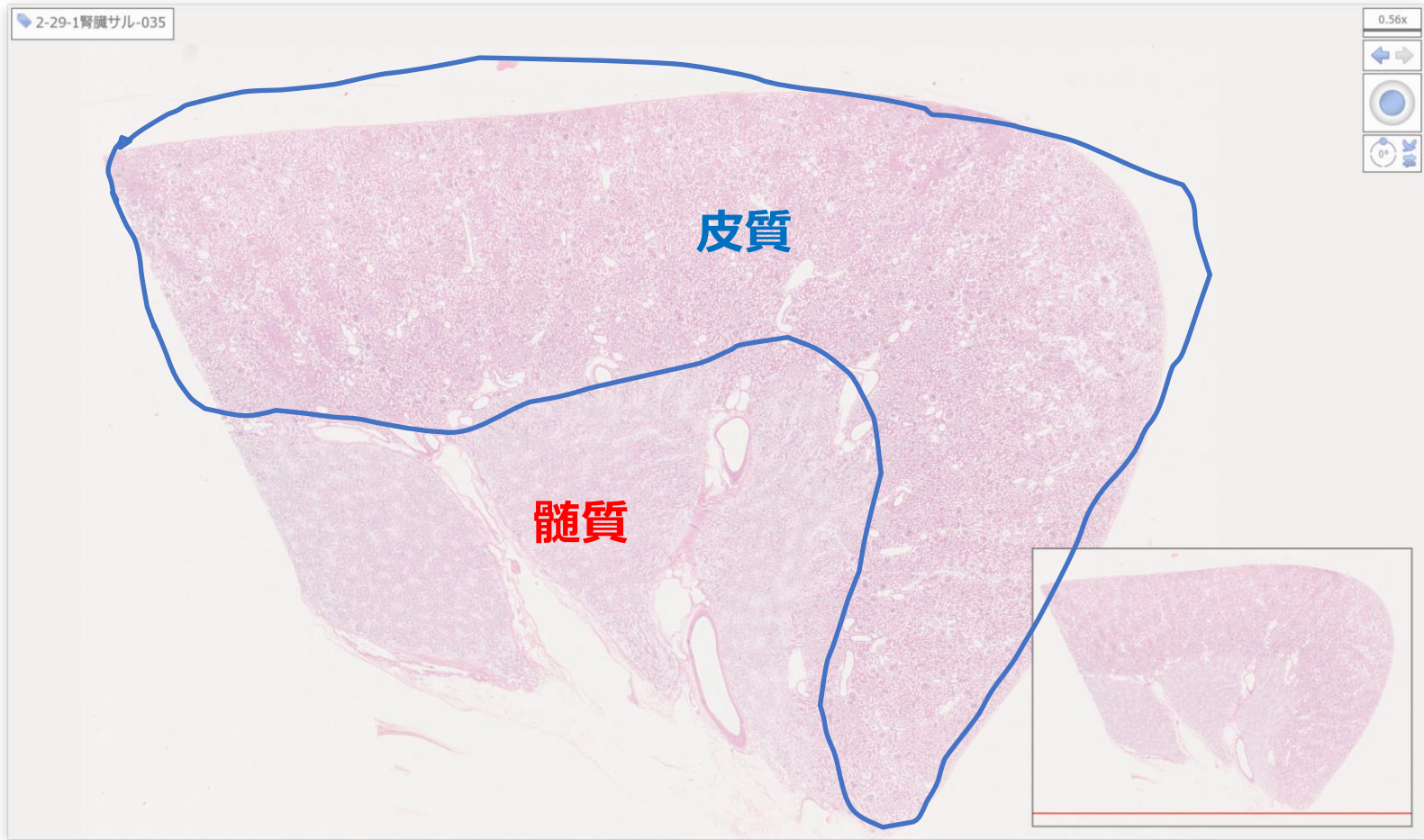
標本：ヒト血液塗抹標本（ギムザ染色）

分類：リンパ球、単球、好中球、好酸球、好塩基球

班数：4

# 1. 腎尿細管

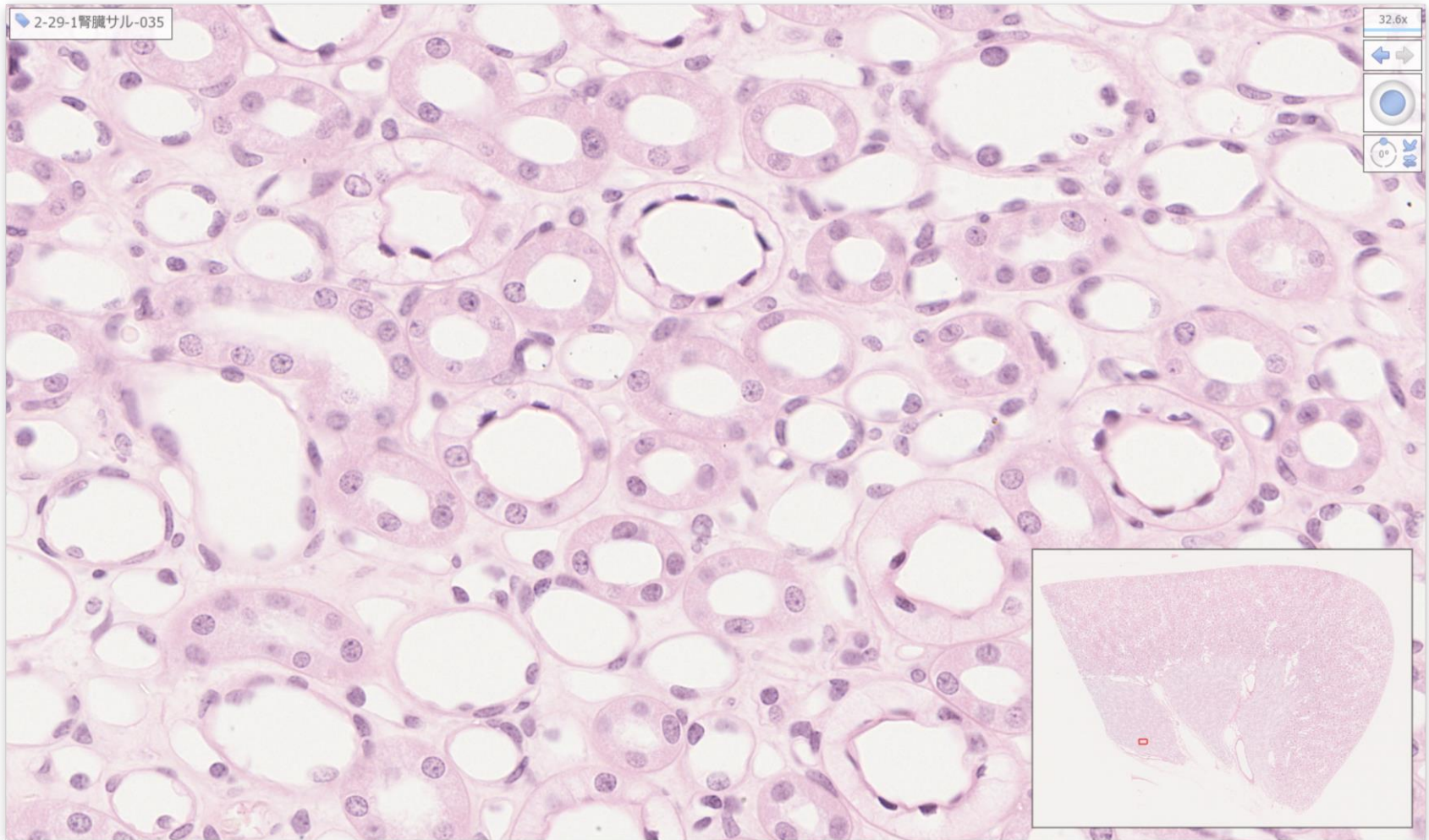
腎臓サル H&E染色



皮質・髓質で分布している  
尿細管の種類が異なる。  
今回は髓質で実施

(東京医科歯科大学実習標本)

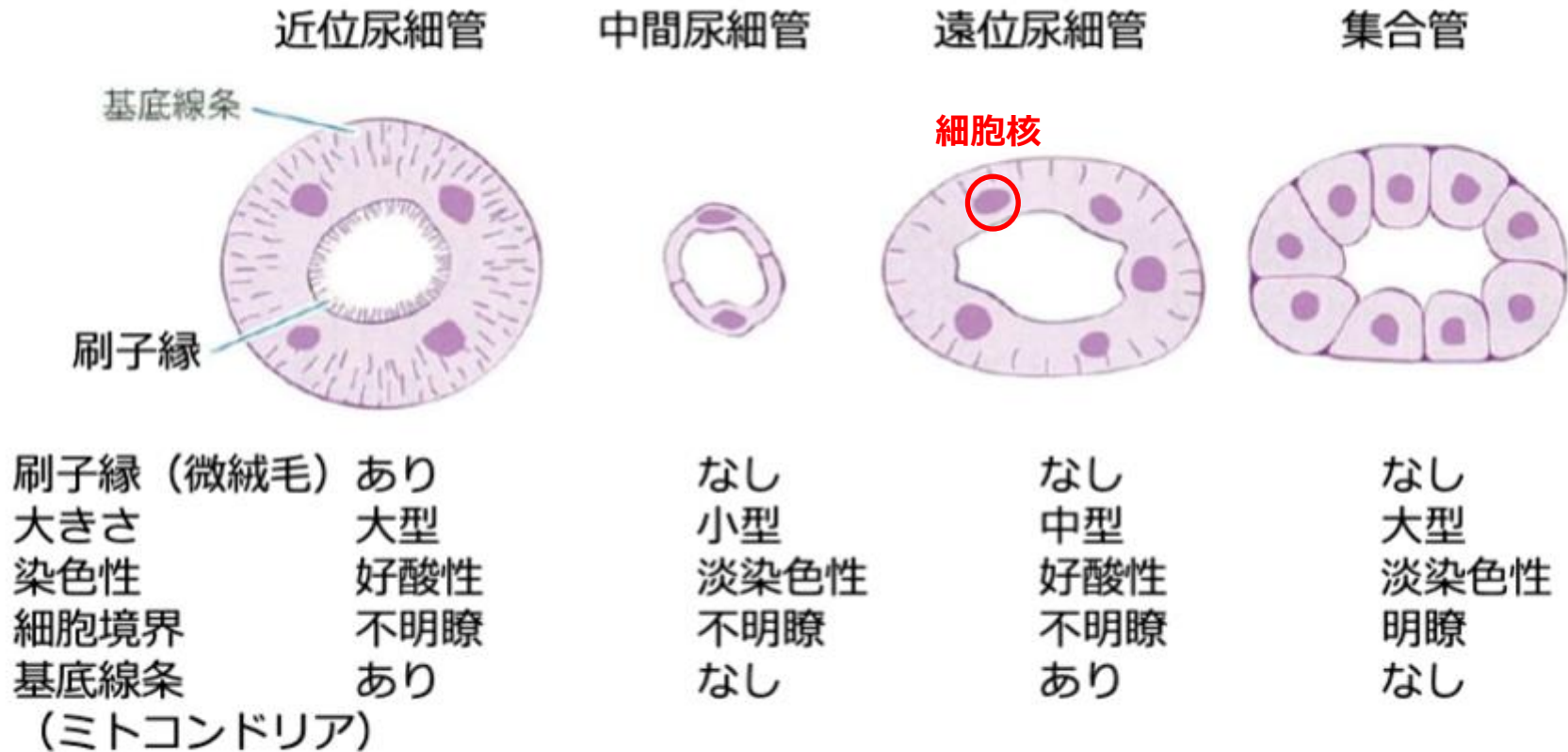
## 1.2 腎尿細管-副腎髓質



腎臓は尿を作ったりする臓器  
このようにたくさんの管（尿細管）がある  
尿細管は、必要なものを再吸収するための装置

（東京医科歯科大学実習標本）

## 1.3 分類したい尿細管の種類



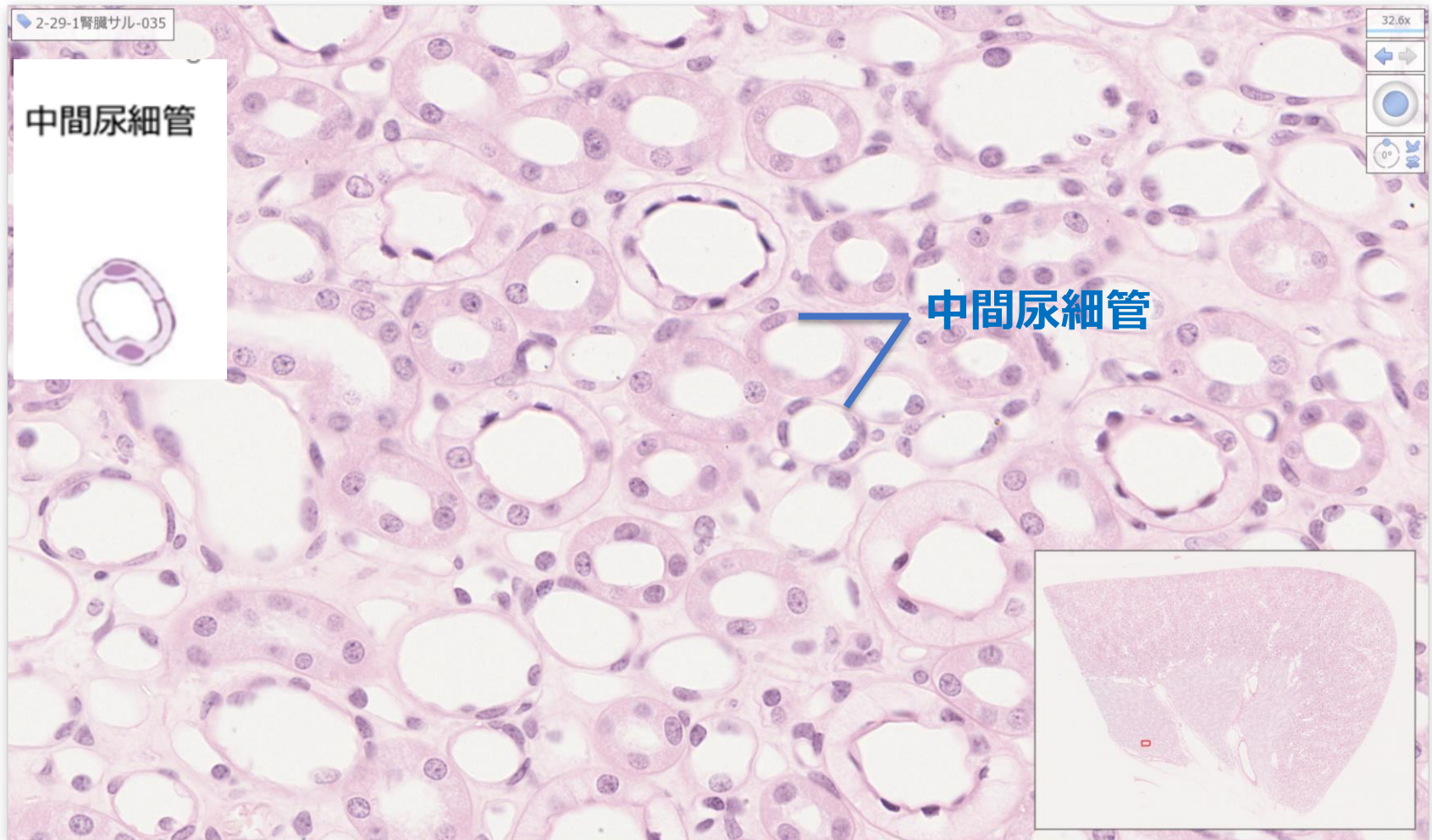
近位尿細管は髄質中は少ない

イラスト（新組織学）



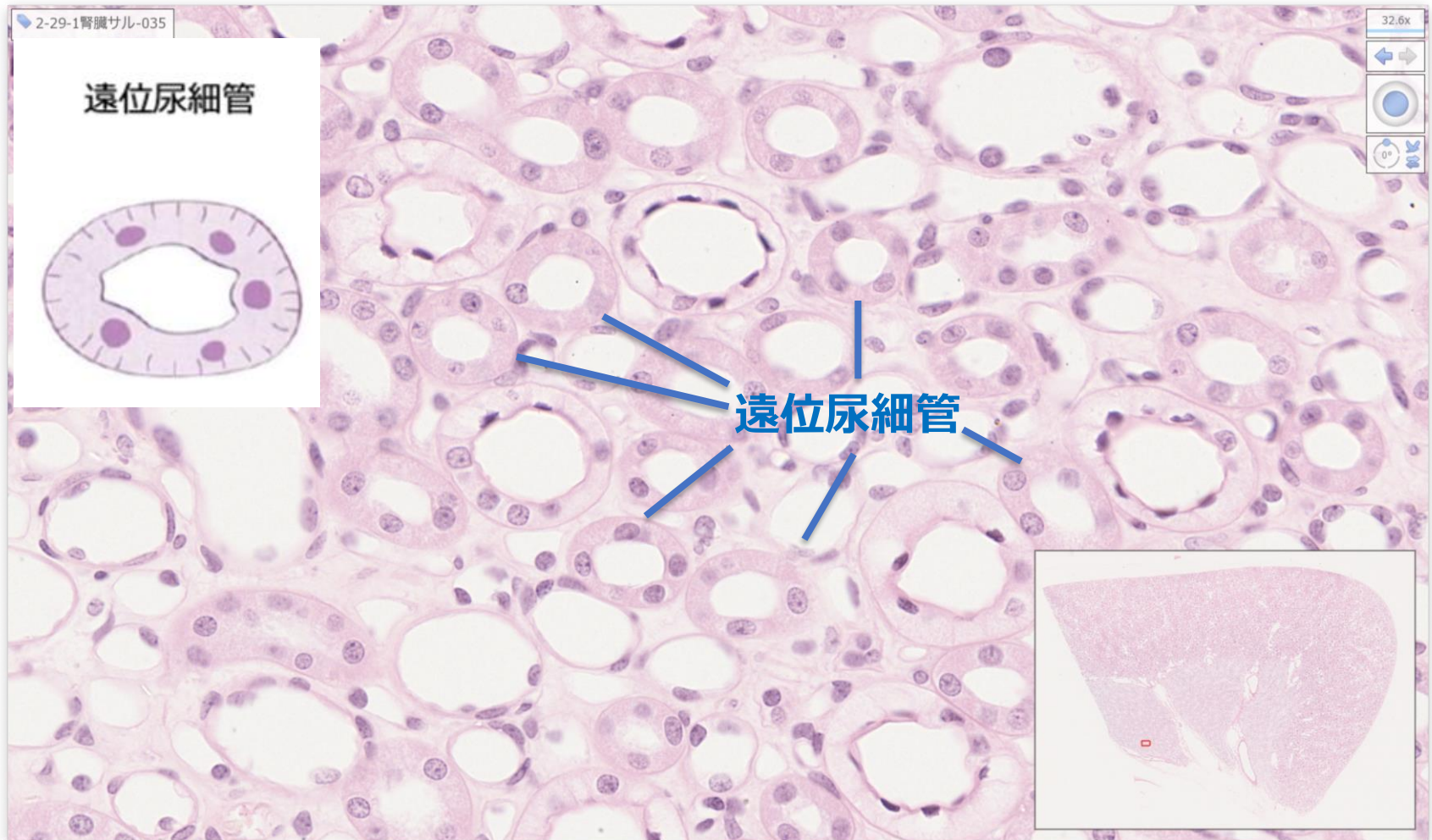
# 1.3 分類したい尿細管の種類

## (1) 中間尿細管



# 1.3 分類したい尿細管の種類

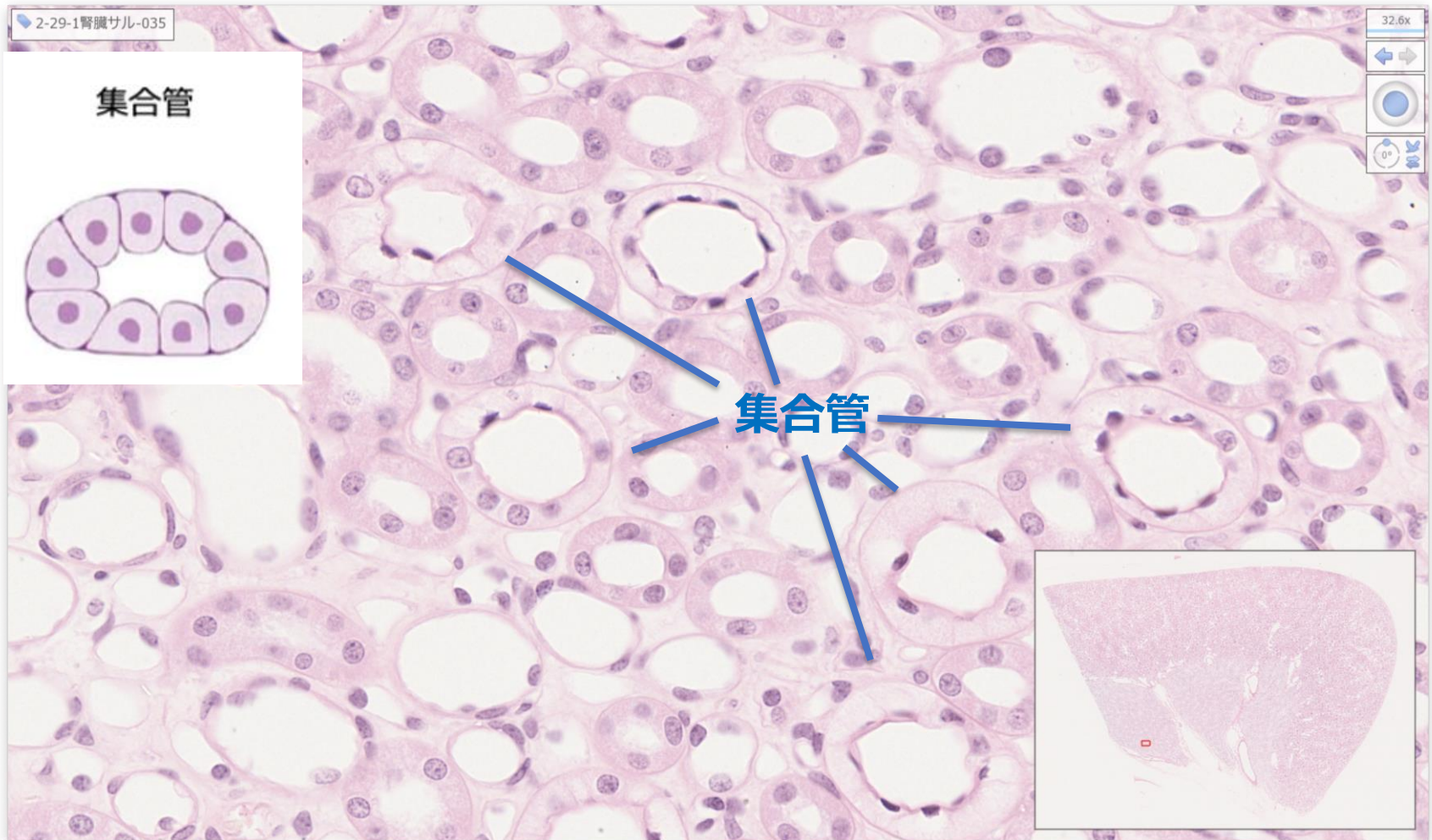
## (2) 遠位尿細管





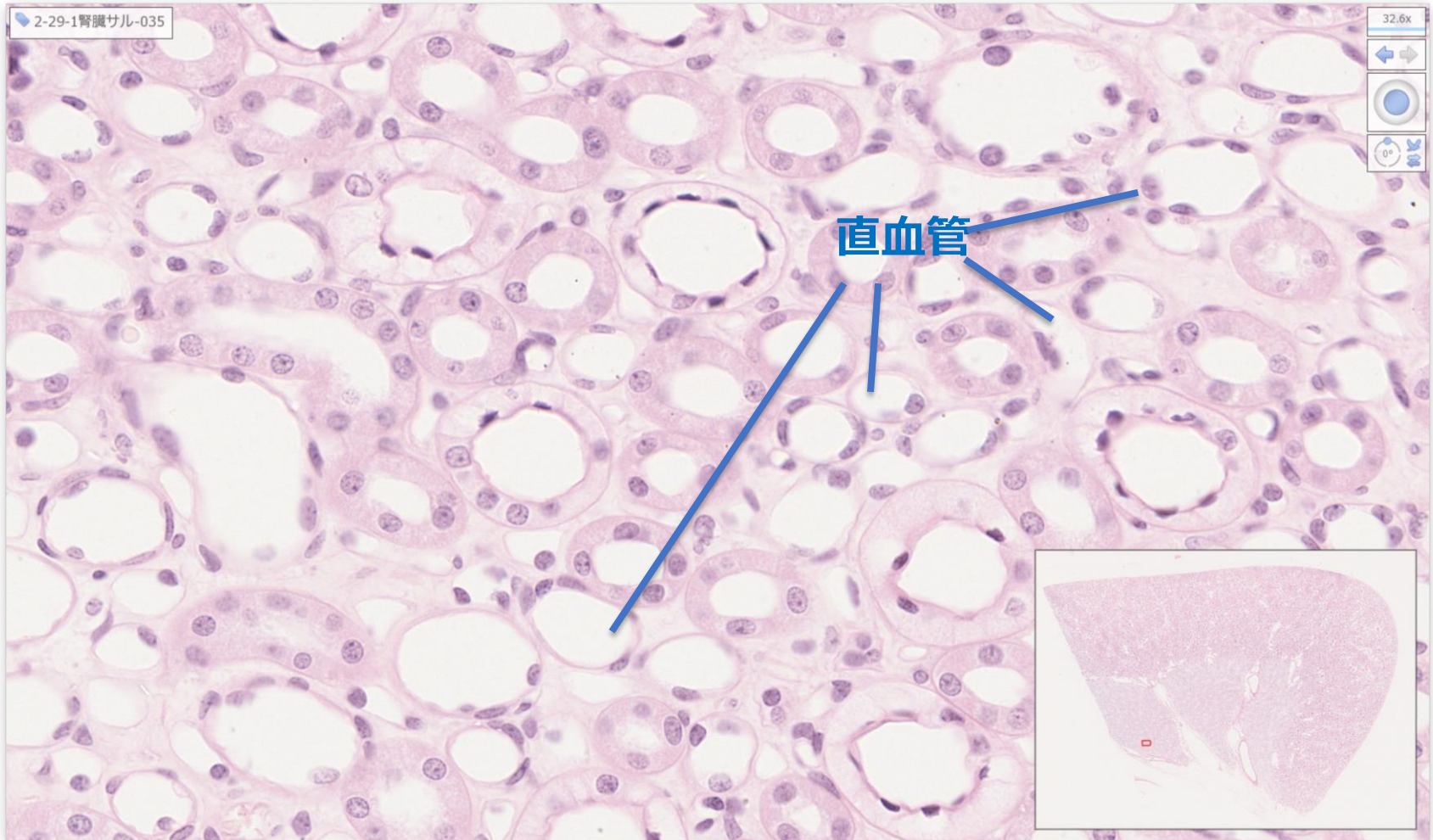
# 1.3 分類したい尿細管の種類

## (3) 集合管



# 1.3 分類したい尿細管の種類

(4) 直血管（血管の特徴は血管内皮細胞の核が細胞より内腔側にみられること）

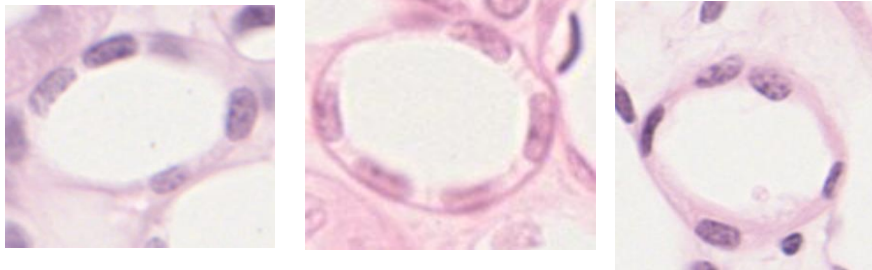




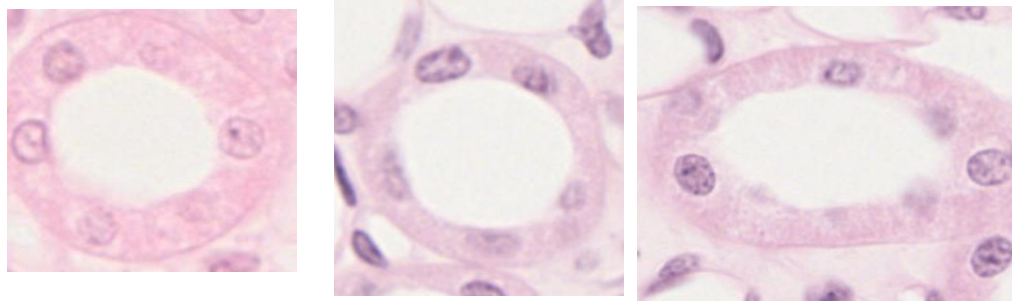
## 1.4 画像の例

(東京医科歯科大学実習標本)

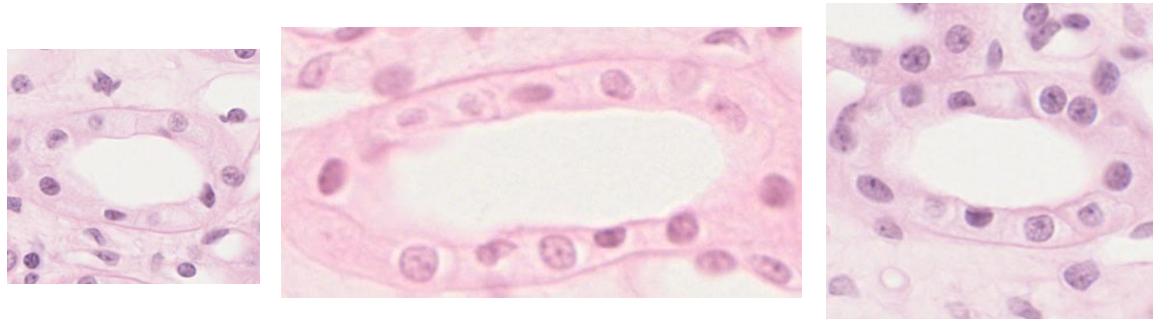
中間尿細管



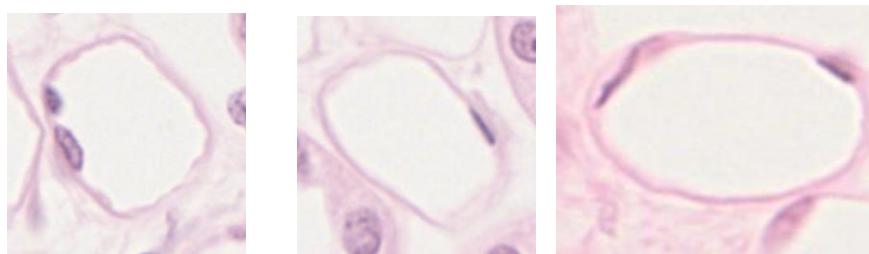
遠位尿細管



集合管

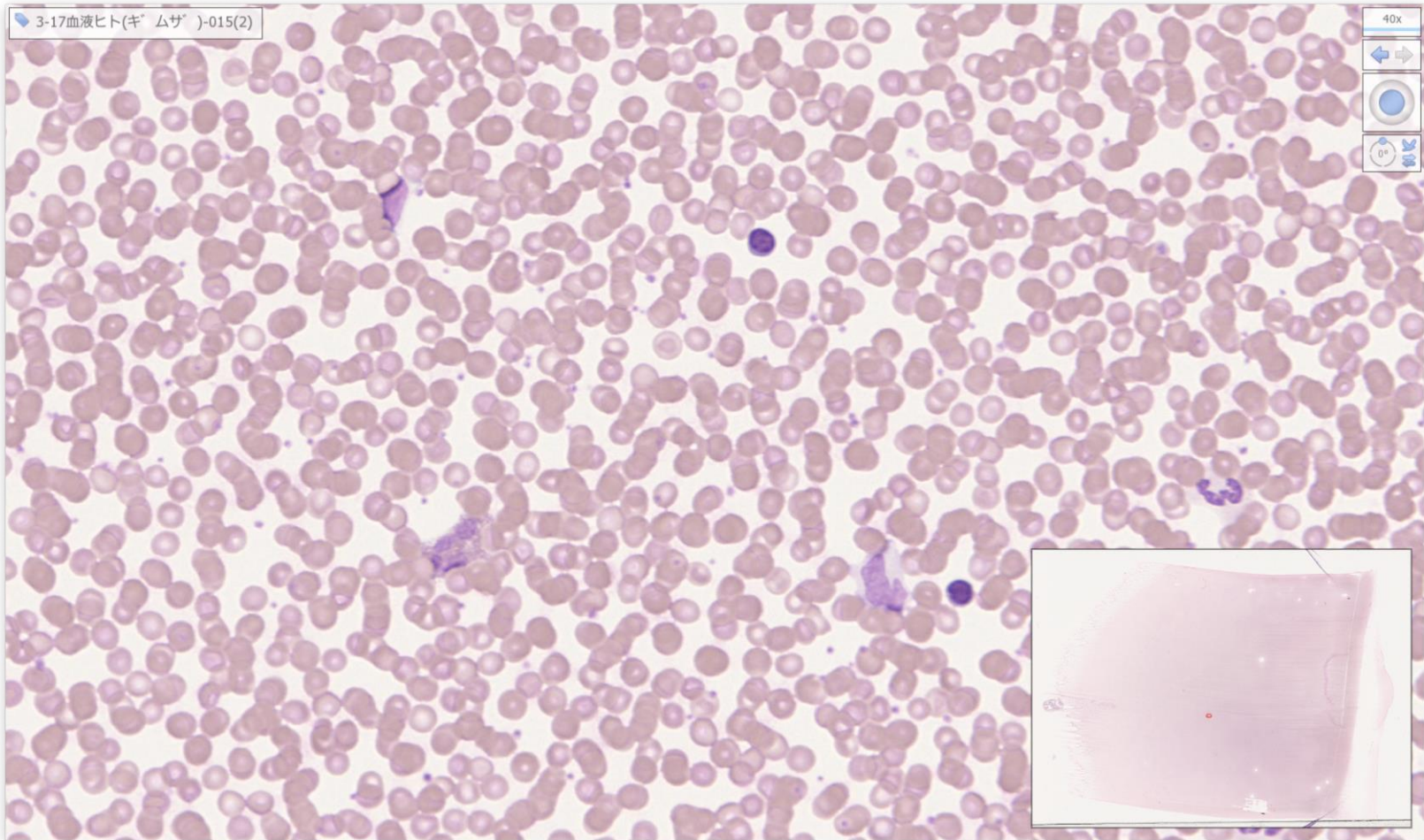


直血管



## 2. 白血球

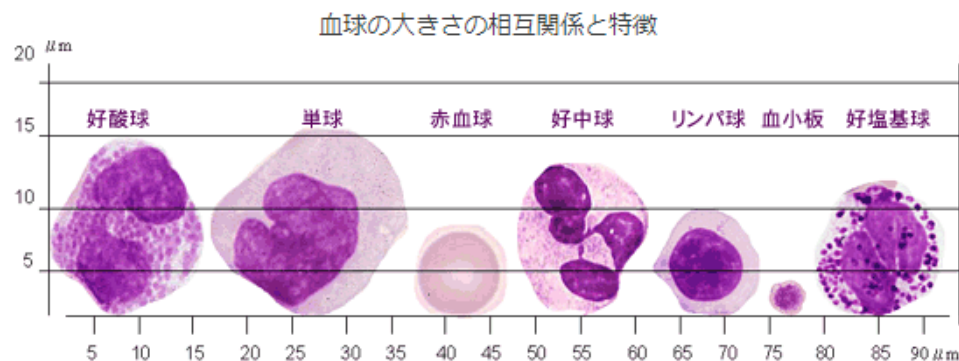
血液 塗抹標本（ギムザ染色）



多くみられるのは赤血球  
紫色の核がみえているのが白血球

（東京医科歯科大学実習標本）

# 1.3 分類したい白血球の種類



血球の種類		核	細胞質	顆粒	大きさ (μm)	数量 (平均/μl)
白血球	好中球	桿状～分葉形	淡褐色	好中性	11.5－14.0－16.5	4,000 ( 55% )
	好酸球	桿状～分葉形	淡褐色	好酸性	13.0－15.0－17.9	200 ( 3% )
	好塩基球	桿状～分葉形	淡褐色	好塩基性	12.0－13.6－16.2	50 ( 0-1% )
	単球	腎臓、馬蹄形	淡青灰色	好アズール性	13.2－16.7－21.2	300 ( 4% )
	リンパ球	円形、類円形	青色	好アズール性	7.5－11.7－16.8	2,500 ( 35% )
赤血球		(－)	紅橙色	(－)	6.0－7.7－9.0	500万
血小板		(－)	好アズール性	淡青色	2.0－3.0－5.0	20万

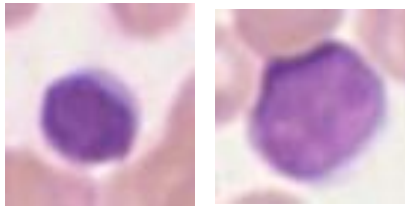
ベックマンHPより転載

[https://www.beckmancoulter.co.jp/dx/quiz\\_past/hematology/oneself/part02/self2\\_03.html](https://www.beckmancoulter.co.jp/dx/quiz_past/hematology/oneself/part02/self2_03.html)

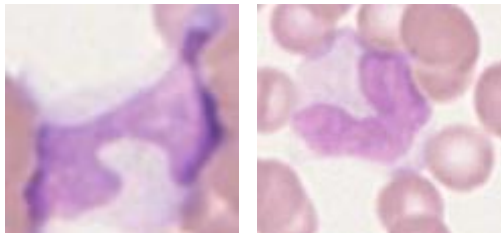


## 1.4 画像の例

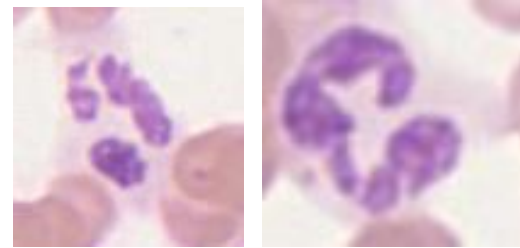
リンパ球



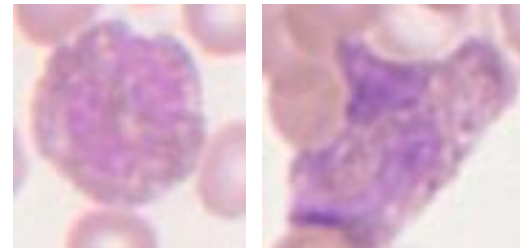
単球



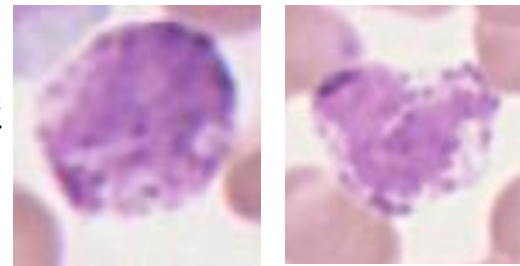
好中球



好酸球



好塩基球



(東京医科歯科大学実習標本)